

いのち
生命の言葉 平成二十九年十二月

あめ つち
おん

天地の御恩 日夜に忘れぬは

ぞんじたてまつりそうろう

神道のはじめと奉存候

いのうえまさかね
井上正鐵

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと

未来に受け継ごう

「美しい国ぶり」

いのち
生命の言葉

十二月

井上正鐵著「唯「問答書」の二節。

私共を生かしてくださっている天地のお働きを忘れず、そのお恵みのお陰で生きていることを感謝することこそ神道のはじめの大切な二歩です。

井上正鐵 (いのうえまさかね)

寛政二年(一七九〇)〜嘉永二年(一八四九)。

幕末の神道家、禊教教祖。山形藩主の秋元侯家臣、安藤真鐵の次男として生まれ、諸国を遍歴して修行。神祇伯白川家に入門して現在の梅田神明宮の神主に就任。民衆を救済・教化するも、幕府の嫌疑を受けて三宅島に遠島され、現地で逝去。

今日の祝日

〔天皇陛下御誕生日(二十三日)〕昭和八年にお生まれになられた天皇陛下のお誕生日。国民がぞつてお祝い致しますよう。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>

